

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ー分析から見てきた成果・課題と今後の取組についてー

区 名	大正区
学 校 名	大阪市立小林小学校
学校長名	山本 武司

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・小林小学校では、第6学年 21 名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- 国語は、昨年度よりも平均正答率が少し上回った。
- 算数は、昨年度よりも平均正答率が大きく上回った。
- 平均無回答率は、国語・算数ともに、全国平均および大阪市平均よりも良好な値であった。
- 国語は、約6割の児童が本校平均正答率以上にあてはまる。それに対して、約4割の児童が平均正答率以下となっている。
- 算数は、約7割の児童が本校平均正答率以上にあてはまる。それに対して、約3割の児童が平均正答率以下となっている。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

国語の学習指導要領の内容では、「我が国の言語文化に関する事項」と「書くこと」については、全国平均および大阪市平均よりやや上回っていたが、それ以外の領域は、全国平均および大阪市平均との差が大きかった。特に、「読むこと」については、全国平均および大阪市平均よりも大きく下回っており、「読むこと」また「話すこと・聞くこと」についての学びに大きな課題があると考え。

〔算数〕

算数の学習指導要領の内容では、「変化と関係」については、全国平均にわずかに及ばなかった。全ての領域において全国平均および大阪市平均を下回る結果となった。どの領域においても、基礎・基本の学力を定着させていくことが課題であると考え。

質問調査より

「自分には、よいところがあると思いますか」の質問では、全国や大阪府のもっとも肯定的な回答よりも低い、今年度は昨年度よりもっとも肯定的な回答が大きく上回っている。（R5：9.3%、R6：33.3%）「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問では、全国や大阪府の肯定的な回答よりも上回っている。先生によいところを認めてもらえることで、少しずつ自尊心が高くなってきていると考え。

「学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」の質問では、52.4%が「全くしない」と回答した。家庭学習が定着していないことが課題であると考え。

今後の取組(アクションプラン)

- 主体的・対話的で深い学びの推進
学力向上支援チーム事業を活用し、学校全体で授業改善を行い、児童が「わかる」「できる」喜びを味わわせる工夫が必要である。児童が課題を見出し、自ら進んで解決策を考えたり、話し合い活動を充実させたりして、児童が考えを深める場の設定を行う。
- ICT機器を活用した教育の推進
1人1台学習者用端末を活用し、個に応じた学びに向けて取り組みを進める。
- 学習内容を定着させるための取り組み
基礎・基本の学力を定着させるために、放課後学習を活用する。また、宿題の量や出し方について校内で意見交流をしたり、研修したりすることで、今後の学習指導に活かしていく。
- 自尊感情の育成
自尊感情の育成は、本校の課題として、継続して取り組んでいく。

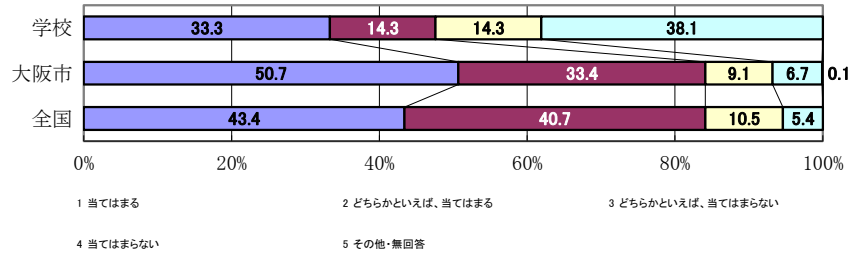
児童質問より

質問番号

質問事項

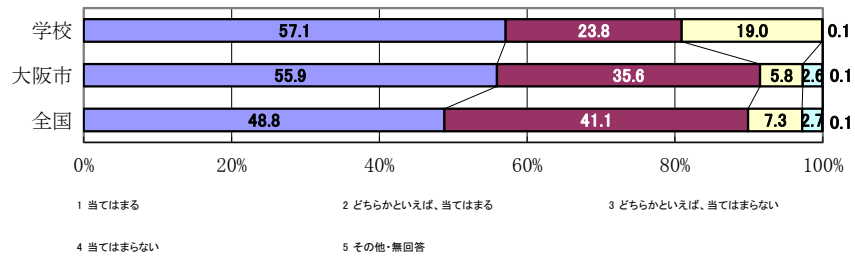
9

自分には、よいところがあると思いますか



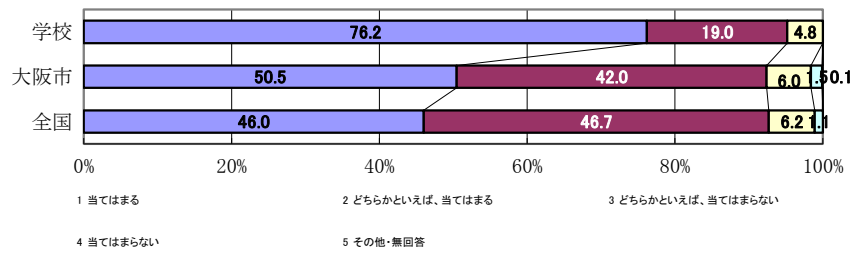
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



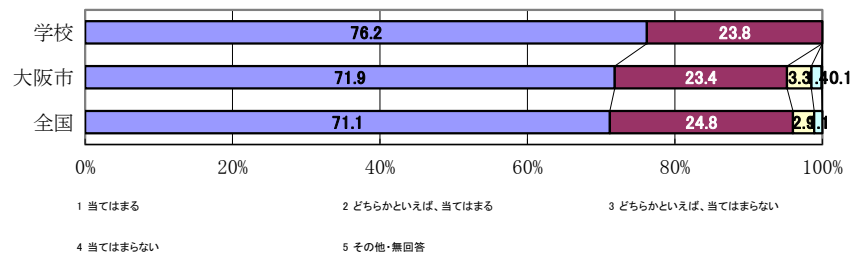
12

人が困っているときは、進んで助けていますか



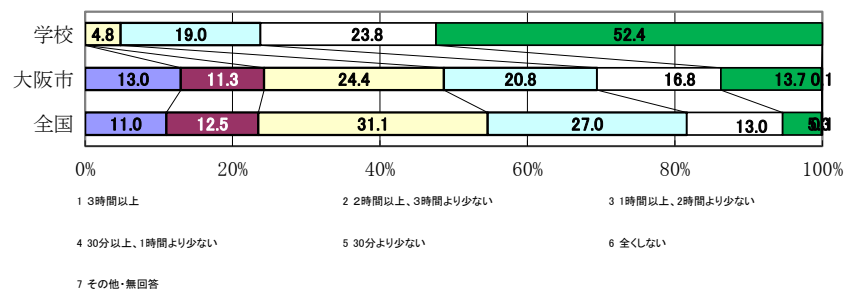
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



学校質問より

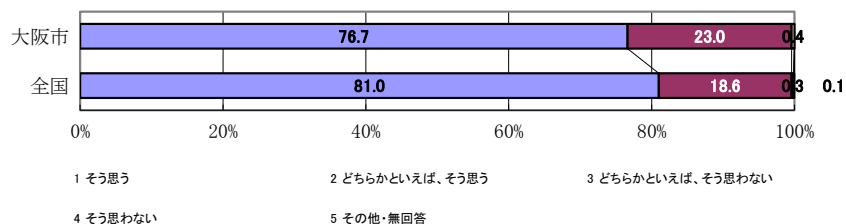
質問番号

質問事項

21

各児童の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

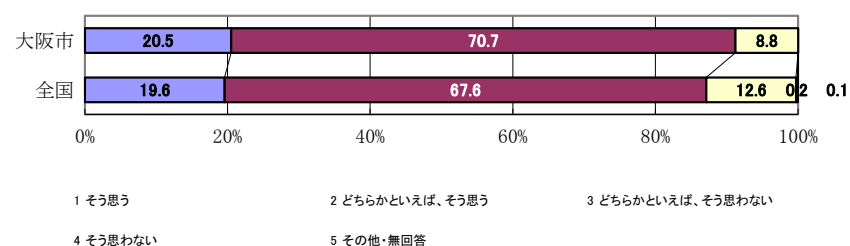
学校 「そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていますか

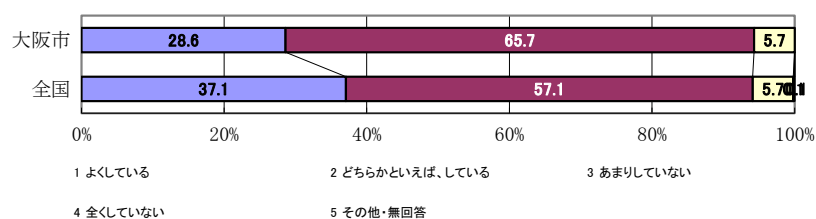
学校 「そう思う」を選択



37

調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

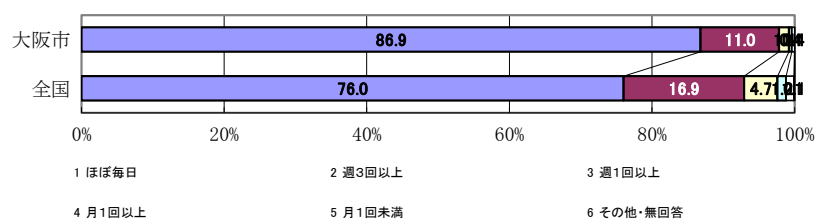
学校 「どちらかといえば、している」を選択



53

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択



56

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択

